

新人看護師・新人助産師臨床実践能力向上推進事業(平成17年～)

平成20年度予算額:272百万円

看護基礎教育における学習内容と臨床現場で求められる能力にギャップがあり、新卒者の中にはリアリティショックを受ける者や高度な医療を提供する現場についていけない新人看護職員の離職の原因となっている。

一方で医療安全の確保に向けた体制整備が喫緊の課題となっており、新人看護職員の資質の向上が急務となっている。効果的かつ効率的な研修方法を普及していくことがこうした課題への対応として必要であることから、卒業直後からの新人看護師及び新人助産師に対する研修をモデル事業として実施している。

<研修施設基準を元に施設選定>

平成20年度

新人看護師研修

選定施設 39施設

新人助産師研修

選定施設 19施設

教育担当者研修

選定施設 22施設

実地指導者研修

選定施設 13施設

他の医療機関からの新人看護師・新人助産師を含め、モデル実施病院において研修を行うことにより、医療安全及び臨床能力の向上を目指す。



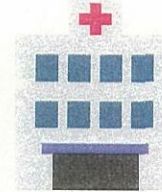
厚生労働省

委託

成果の報告



モデル実施病院



新人看護師・新人助産師を採用した病院及び診療所

< 事業の概要 >

本事業は、新人看護師・新人助産師に対し、十分な指導体制及び研修プログラムを有する医療機関において実施される新人看護師・新人助産師に対する研修(以下、「新人看護師研修」「新人助産師研修」)に係る費用の一部を補助するものである。

また、効果的な研修の実施にあたっては、教育担当者の能力開発、育成が必須であることから、十分な研修プログラムを有する医療機関において実施される教育担当者等に対する研修についてもこれに係る費用の一部を補助するものである。